富士経済 GROUP

PRESS RELEASE

第12108号

2012年11月21日

株式会社　富士経済
〒103-0001　東京都中央区日本橋小伝馬町
12-5　小伝馬町 YS ビル
TEL.03-3664-5811　FAX.03-3661-0165
URL：http://www.group.fuji-keizai.co.jp/
https://www.fuji-keizai.co.jp/
広報部　03-3664-5697

国内外食産業１４分野１２８業態の市場を総括

—市場成長率上位業態（２０１２年見込）—

１位 宅配釜飯は２０１１年比２０．５%増の４７億円　２位 とんかつ･かつ丼は前年比２０．４%増の２１８億円

・・・上位チェーン店による新規出店が市場拡大に大きく寄与

—外食産業全体市場—

２０１２年は３２兆３，７７９億円（前年比０．６%増）の見込み

・・・前年の落ち込みの反動で５年ぶりにプラスも、２０１０年の３２兆６，８９４億円は下回る

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町　社長　阿部　界　03-3664-5811）は、２０１２年５月～９月にかけて国内１４分野１２８業態の外食市場の調査、外食企業の事例研究、外食産業の都道府県別マーケットポテンシャルの分析などを行い、その結果を報告している。今回は、国内外食産業の総合分析、並びに海外における外食産業の動向を調査し、その結果を報告書「外食産業マーケティング便覧　２０１２　Ｎｏ．３」にまとめた。

■市場成長率トップ１０業態　（２０１２年見込）

順位	業態	分野	前年比
１位	宅配釜飯	ホームデリバリー・ケータリング	１２０．５%
２位	とんかつ・かつ丼	ファストフード	１２０．４%
３位	病者・高齢者食宅配	ホームデリバリー・ケータリング	１２０．０%
４位	サンドイッチ	ファストフード	１１９．０%
５位	クイックパスタ	ファストフード	１１３．０%
６位	有料老人ホーム	給食	１１１．７%
７位	客船食堂	交通機関	１１０．８%
８位	オイスターバー	西洋料理店	１０８．７%
９位	韓国料理	東洋料理店	１０８．５%
１０位	機内食	交通機関	１０７．３%

１２８業態のうち、２０１２年に市場の拡大が見込まれるのは６１業態であり、２０１１年の３６業態、２０１０年の５０業態を上回る。これは２０１１年の大幅な落ち込みの反動が要因となっている。

宅配釜飯は、２０１１年に成長が鈍化したものの、２０１２年は「釜寅」「釜のや。」の上位２チェーンが新規出店を増やし市場を拡大させている。

とんかつ・かつ丼は、アークランドサービスや松屋フーズが店舗増により市場拡大を牽引し、２０１１年の前年比２７．９%増は下回るものの、２０１２年は同２０．４%増が見込まれる。

病者・高齢者食宅配は、ワタミタクショクの継続的な営業所開設、シルバーライフの出店攻勢が市場の伸長に寄与している。高齢化が進んでいることもあり依然として成長の余地がある。２０１２年は上位企業が好調なことに加え、日清医療食品が参入を果たしたことから、市場は前年を上回る見込みである。

客船食堂、機内食は、東日本大震災による外国人観光客の減少により２０１１年は大幅に落ち込んだが、観光需要が回復しつつあり２０１２年は反転する見込みである。

また、２０１０年（前年比４４．２%増）、２０１１年（同２０．１%増）に高い成長率を記録した均一価格型居酒屋は市場が縮小しており、２０１２年は前年比０．８%減となる見込みである。

＜調査結果の概要＞

◆外食産業全体市場

	２０１１年	前年比	２０１２年見込	前年比
外食産業全体市場	３２兆１，７６４億円	９８．４％	３２兆３，７７９億円	１００．６％

２０１１年の外食産業全体市場は、東日本大震災の影響を受けて前年比１．６％減となり、リーマンショック直後の２００９年並みの落ち込み幅となった。全１４分野のうち前年比プラスとなったのはファストフード、テイクアウト、給食の３分野のみであった。

２０１２年の市場は５年ぶりのプラスに転じ、前年比０．６％増となる見込みである。全１４分野のうち８分野（ファストフード、テイクアウト、ホームデリバリー・ケータリング、交通機関、レジャー施設、ファミリーレストラン、東洋料理、宿泊宴会場）が前年を上回る。前年の落ち込みの反動から回復しつつあるものの、依然厳しい市場環境が続いている。

最も伸び率の高い分野はファストフードである。同分野は成長を続けており、２０１２年も前年比３．１％増が見込まれる。中でも、とんかつ・かつ丼（前年比２０．４％増）、サンドイッチ（同１９．０％増）、などは上位チェーン店が新規出店を積極的に進めている。また、テイクアウトは前年比２．５％増が見込まれ、中でもＣＶＳデリカ（前年比５．２％増）、量販店デリカ（同１．９％増）が好調である。

◆ライフスタイルの変化に伴う朝食市場の開拓

朝食市場は高齢化の進展や団塊世代のリタイアに伴う時間的な余裕、節電対策のサマータイム制導入による就業時間の早まりにより、参加各社が注力マーケットとしており、ファストフード、テイクアウト、料飲店、ファミリーレストラン、喫茶、西洋料理、日本料理、東洋料理、エスニック料理の合計で８，２１２億円の市場が見込まれる。

◆海外において存在感を増す日系外食ブランド

海外では外食産業が市場拡大を続けている国が多い。特に中国では２０年以上連続して２桁成長を達成しており、２０１２年も前年比１５．４％増が見込まれる。新天地を求める日系企業の海外進出も急増し、「味千ラーメン」の重光産業や吉野家など日系外食ブランドは存在感を増している。

＜注目業態動向＞

● イタリアン（イタリア料理店、イタリアＦＲ、宅配ピザ、クイックパスタ）

業態	２０１１年	２０１２年見込	前年比
イタリア料理店	３，２００億円	３，１５０億円	９８．４％
イタリアＦＲ	１，３８１億円	１，３９４億円	１００．９％
宅配ピザ	１，２４５億円	１，２５７億円	１０１．０％
クイックパスタ	２３億円	２６億円	１１３．０％
合　計	５，８４９億円	５，８２７億円	９９．６％

注：四捨五入して億円単位にしているため必ずしも合計とは一致しない。

イタリアＦＲ（ファミリーレストラン）では「サイゼリヤ」が国内１，０００店舗体制に向けて事業拡大を進めている。また、宅配ピザでも「ピザーラ」「ピザハット」の新規出店など積極的な動きが見られ、２０１２年も両業態は市場を伸ばすとみられる。また、市場は小さいながらクイックパスタも成長が見込まれ、これら客単価の低い業態は比較的好調に推移している。一方、構成比５０％を超えるイタリア料理店の低迷が続いており、２０１２年のイタリアン市場全体は縮小が見込まれる。

● コーヒーショップ（喫茶店・コーヒー専門店、コーヒーショップ）

業態	２０１１年	２０１２年見込	前年比
喫茶店・コーヒー専門店	９，７３１億円	９，５８５億円	９８．５％
コーヒーショップ	３，１６９億円	３，２０３億円	１０１．１％
合　計	１兆２，９００億円	１兆２，７８８億円	９９．１％

注：四捨五入して億円単位にしているため必ずしも合計とは一致しない。

コーヒーショップは、低価格帯では「ドトールコーヒーショップ」がモーニング専用のサンドイッチやカフェタイム向けのケーキセット導入などのタイムマーケティングが好調で、２０１２年も僅かながら続伸が見込まれる。

また、高価格帯でも「スターバックスコーヒー」の立地ごとに形態を変えた積極的な新規出店や、ベーカリーに強みを持つ「サンマルクカフェ」の継続的な出店等、上位チェーンの積極的な出店戦略が拡大に貢献している。

一方、構成比率の高いフルサービス型の喫茶店・コーヒー専門店は、「コメダ珈琲店」をはじめとした一部上位企業に好調な動きがみられるが、コーヒーショップに需要を奪われているため、コーヒーショップ市場全体ではマイナスとなる見込みである。

＜調査対象　国内外食産業１４分野１２８業態＞

ファストフード	ハンバーガー、チキン、ドーナツ、サンドイッチ、クレープ、アイスクリーム、ギョーザ、ラーメン、カレーショップ、ステーキ、立ち食い・セルフ式そばうどん、クイックパスタ、回転ずし、たこ焼き・お好み焼き類、牛丼、天丼、海鮮丼、とんかつ・かつ丼、ビビンバ、定食チェーン
テイクアウト	テイクアウト弁当・惣菜、デリカショップ、おにぎり、テイクアウトずし、ベーカリーショップ、チェーン系スイーツ（洋生菓子）店、百貨店スイーツ店、シュークリーム専門店、百貨店デリカ、ＣＶＳデリカ、量販店デリカ、ホテルデリカ、たい焼き専門店
ホームデリバリー・ケータリング	宅配ピザ、宅配ずし、宅配中華料理、宅配釜飯、ＦＲ宅配、病者・高齢者食宅配、仕出し弁当・ケータリング
料飲店	居酒屋・炉端焼、アッパー居酒屋、低価格型居酒屋、均一価格型居酒屋、やきとり専門店、ビアレストラン、ディスコ・クラブ、カフェバー・ショットバー、スナック・クラブ・パブ
交通機関	駅構内飲食店、列車内食、機内食、有料道路ＳＡ・ＰＡ、客船食堂
レジャー施設	ゴルフ場、スキー場、健康ランド・スーパー銭湯、レジャーランド、野球場、映画館・シネコン、フードテーマパーク、ギャンブル場、カラオケボックス、複合カフェ
ファミリーレストラン（ＦＲ）	標準型、高価格型、低価格型、和風、イタリア、中華、ステーキ・ハンバーグ、チャンポン、バイキングレストラン
喫茶	コーヒーショップ、低価格型コーヒーショップ、高価格型コーヒーショップ、喫茶店・コーヒー専門店、紅茶専門店、フルーツパーラー、ベーカリーカフェ、甘味処、ジューススタンド
西洋料理店	フランス料理、イタリア料理、高級イタリア料理、パスタレストラン、アメリカ料理、ドイツ料理、スペイン料理、ステーキ・ハンバーグレストラン、シーフードレストラン、オイスターバー、オムレツ・オムライスレストラン
日本料理店	そば・うどん、そば居酒屋、すし、うなぎ、てんぷら、とんかつ、すきやき・しゃぶしゃぶ、料亭・割烹、豆腐料理、低価格ふぐ料理、かに料理、ちゃんこ料理、もつ鍋、お好み焼き
東洋料理店	韓国料理、焼肉料理、ホルモン料理、高級中華料理、一般中華料理、点心料理
エスニック料理店	メキシコ料理、インド料理、東南アジア料理
給食	産業給食、学校給食、病院給食、高齢者福祉施設給食、有料老人ホーム、幼稚園・保育所給食、学生食堂
宿泊宴会場	ホテル、ビジネスホテル、結婚式場・宴会場、旅館、民宿・ペンション

＜調査方法＞

富士経済専門調査員による調査対象企業及び関連企業・団体等へのヒアリング及び関連文献、社内データベースを併用

＜調査期間＞

２０１２年７月～８月

以上

資料タイトル　：「外食産業マーケティング便覧２０１２　Ｎｏ．３　企業＆マーケティングデータ編」
体　　裁　：Ａ４判　３１８頁
価　　格　：書籍版８０，０００円　（税込み８４，０００円）
ＰＤＦ／データ版９０，０００円　（税込み９４，５００円）
書籍版＋ＰＤＦ／データ版セット１００，０００円　（税込み１０５，０００円）
調査・編集　：富士経済　東京マーケティング本部　第一統括部　第一部
TEL:03-3664-5821　FAX:03-3661-9514
発　行　所　：株式会社　富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町１２－５　小伝馬町ＹＳビル
TEL:03-3664-5811　（代）　FAX:03-3661-0165　e-mail:info@fuji-keizai.co.jp
この情報はホームページでもご覧いただけます。
URL：http://www.group.fuji-keizai.co.jp/　https://www.fuji-keizai.co.jp/